

革新的な技術を取り入れ、韓国国内に新たな流れを作つていきた
い。当釜山広域市への進出をぜひ
考えて頂きたい」と述べ、事業敷
地の50年間無償提供、税制の優遇
策など誘致に関連する様々な優遇
策を説明した。エコラ・アクトリ－
は、中国・遼寧省營口市に現地企
業と合弁設立した工場を持つ。韓
国に対しては合弁工場で製造した
輻射式冷暖房装置「エコウイン」
を、韓国側総代理店を経由して販
売している。今回の進出打診は、
韓国での地産地消の道が開けるこ
とを意味する。村上社長は「前向
きに検討します」と意向を伝え
た。同社が描く「エコウイン」の
世界戦略に新たな1ページが加わ
るかもしない。

昨年12月19日、韓国・釜山広域市の経済ミッションがエコファクトリーの熊本本社を訪ねてきた。席上、ミッションの代表は「釜山広域市は韓国第2位の経済都市で世界6位の貨物量を誇る港湾都市。近年の日韓関係は戦後最悪といわれるが、我々としては海外の

プロダクツ部門で国土交通大臣賞を受賞し、その存在は一躍注目を浴びた。同体育館への導入を皮切りに、その後「エコワイン」は導入事例を着実に伸ばしていく。 ◇

九州ユービジネス大賞優秀賞 会特別賞の受賞対象となつた宇土市（2010年6月）、第4回九州市民体育館（熊本県）の導入事例たのは、2004年、村上社長環境ビジネス大賞（2011年10月）など各賞受賞に輝いた。

は、対流式空調が一般的だつた公が倫理法人会主催の経営者セミナクトリーにとつては、むしろ学校月など各賞受賞に輝いた。

共施設の大空間空調に一石を投じて参加し、地球温暖化の現状に空調に統いて全国自治体で計画さ、「エコワイン」の原理は、発熱るものだつた。1980年に完成した同体育館の耐震改修による大建築設計事務所を経営していた村が大きな商機となる。すでに東京・エレメント・パネル」から放射幅なりニューアルを行う際、先進上社長は「環境に優しいエコ住宅都内で採用実績が出始めており、される遠赤外線を介して壁等に設置する放射源と人体やモノなどの「エコワイン」を開発に取り組んだが、その中で自治体が計画する向こう3年の期間でさらに大きく伸びることが予想された。同体育館は1990年ごろまでがテーマに浮上し、当時、アイデ

輻射空調「エコウイン」世界にはばたく



エヨファクトリー

村上 尊宣社長